理学療法学科の人材養成の目的

【学部の人材養成の目的】

保健医療学部は、医療技術と健康生活の向上や改善に資する理論と技能、人間の運動機能の向上・支援に関する理論と技能、高度医療に不可欠な工学的知識と応用能力を軸とした医療と福祉に関する専門性に優れ、チーム医療を総合的に捉えつつ次代の保健医療学を創造・実践できる人材を養成することを目的とする。

【学科の人材養成の目的】

理学療法学科では、社会生活を送るうえで必要となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、創造的思考力の修得のもとに、理学療法学分野に関する基礎的な知識及び基本的な技術と態度を有し、地域住民の健康増進や疾病予防、健康寿命の延伸など高度で多様化した社会的ニーズに広く対応できる理学療法士の養成を行い、総合大学での学びを活かして広く地域社会に貢献できる次のような人材を養成する。

①理学療法学に関する専門的知識と実践的能力を体得し、卒業直後から指導助言のもとに地域社会の多様なニーズに対応する理学療法士となる人材

②保健・医療・福祉制度の下で、他の関係職種と連携・協働しながら、理学療法士の役割を果たしていくことができる人材

③社会や保健医療分野の変化に対応し、新しい問題に対して理学療法学をより学際的に発展させ解決へ向けて取り組むことができる人材

理学療法学科ディプロマ・ポリシー

理学療法学科は、「科学的市民」の育成という教育理念のもとに以下の資質や能力を身につけ、所定の授業科目を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に、学士（理学療法学）の学位を授与します。

1．コミュニケーション力
論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。

2．課題発見解決力
現状を分析し、課題を明らかにした上で、科学的思考に基づいて解決へ向けて他者と協働し取り組むことができる。

3．自らを律し、学び続ける力
目標達成のための計画を立案・遂行できる能力を有し、社会のニーズ及び医療の進歩に対応するために、自己研鑽を継続できる。

4．多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力
文化・社会の多様性を多角的に捉える幅広い教養と豊かな人間性を有し、他者の意見を理解し前向きに目標を達成することができる。

5．専門的知識・技能を修得し、実践する力
理学療法学分野に関する基礎的な知識及び技術を活用できる能力を有し、ニーズに応えて安全に理学療法を実施することができる。

6．総合力
基盤能力と専門知識･技術を総合的に活用し､社会の変化に応じて理学療法学をより学際的に発展させ地域社会の発展に貢献できる。

理学療法学科カリキュラム・ポリシー

理学療法学科では、HUS スタンダード科目、学部共通科目、専門基礎教育科目、専門教育科目の有機的な結合によって、理学療法士としての専門能力と専攻分野を通じて学士力を培うことを目指したカリキュラムを設計します。このことを明確にするために、ディプロマ・ポリシーの各項目を達成するために必要な授業科目の流れや、各項目と授業の整合性・関連性を体系的に理解できるようカリキュラム・ツリーを作成します。さらに、教員団はその組織的関与により、常にカリキュラムの点検評価、及び改善を行います。学修成果やカリキュラムの点検評価の方針をアセスメント・ポリシーとしてまとめています。

1. 基盤能力の修得に向けて①コミュニケーション力、②課題発見解決力、③自らを律し、学び続ける力、④多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力を養う HUS スタンダード科目を配置します。

2. 専攻分野に必要な基本スキルを育成するための HUS スタンダード科目、学部共通科目、専門基礎教育科目を配置し、領域ごとに最適化された専門知識・技能修得のための専門教育科目を配置します。

3. 基盤能力と専門的知識・技能に関連する科目を体系的、効率的に修得できるよう配置します。

4. 自ら学ぶ力の醸成や能動的学修をサポートするため、充実した学内 LAN 環境、e-learning 環境などの優れた IT 環境を提供します。

5. 現代社会の多様なニーズに応えるため、最新かつ高度な知識及び技能を学ぶ専門教育科目を配置します。

6. より実践的な経験を積み、協力・協調する姿勢と自ら課題を発見し、問題を解決する能力を育成するため、現実的な課題を題材とした教材を用いて、少人数グループで行う演習科目、実習科目を実施します。

7. 専門知識や技術を体系的に理解して活用するため、実践的な演習課題や臨地実習を通して、実践的能力と自律的学習能力を育成します。

8. 各授業科目の成績評価については、成績評価ガイドラインに則り、厳格かつ公正に行います。

9. 学生の学修成果については、アセスメントプランに定めた方法及び収集した情報に則り、評価します。

理学療法学科　アドミッション・ポリシー

① 基本方針

理学療法学科では、「医療専門職である理学療法士として必要な知識及び技術と態度を体得させ、卒業直後から指導助言のもとに独力で理学療法士として日常医療に対応できる能力を付与するとともに、理学療法学研究に関する思考力と創造性を有し、理学療法学の進歩に即応しつつ、将来的に高度な知識や技術を有した理学療法士となる基礎を培う」ことを教育目標に掲げて理学療法士を育成し、地域医療の向上に貢献します。
そのために、以下のような資質・能力・意欲を持った学生を受け入れます。

② 求める人材像と学力の3要素

求める人材像		知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性
理学療法学に興味を持ち、医療を通じて社会貢献する意欲を持つ人	→	△	○	◎
理学療法士としての専門知識と技能を高め続けることができる人	→	◎	○	△
理学療法学を学ぶための基礎学力を有し、高い勉学意欲のある人	→	○	◎	△

③ 学力の3要素と求める多元的な評価

学力の3要素								
知識・技能	→	学力試験	調査書	発表	推薦書	面接	口頭試問	
思考力・判断力・表現力	→	学力試験	調査書	発表	課題提出	面接		
主体性・多様性・協働性	→	推薦書	面接	自己推薦書				

④ 入学者選抜方法における評価の比重

入学者選抜方法		学力試験	調査書	発表	課題提出	推薦書	面接	自己推薦書	口頭試問
総合型選抜	→	△	ー	◎	ー	ー	○	△	ー
学校推薦型選抜（系列校）	→	ー	○	ー	○	○	◎	ー	△
学校推薦型選抜（指定校）	→	ー	○	ー	ー	○	◎	○	△
学校推薦型選抜（公募）	→	△	△	ー	ー	○	◎	○	ー
自己推薦型選抜	→	○	△	ー	ー	ー	◎	○	ー
一般選抜[前期・後期学力型]	→	◎	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
一般選抜[後期総合評価型]	→	◎	△	ー	ー	ー	○	ー	ー
一般選抜（共通テスト利用選抜）	→	◎	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
外国人留学生選抜	→	○	ー	ー	ー	ー	◎	ー	ー

⑤ 入学前に習得すべき内容・水準

・社会における諸問題を解決するため、幅広い分野の基礎知識を習得していること。
・高等学校等において、明確な目的意識を持って主体的に学ぶ姿勢を経験していること。
・理学療法学を中心とする学士課程教育を学ぶための必要な基礎学力（国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民）を有するとともに、基本的な概念や原理・法則を理解し、今までの知識や経験をもとに、自分の考えを的確に伝えるコミュニケーション能力を身につけていること。

※記号（◎，○，△）は重要度の順序を表しています。